

年間学習指導計画(案)

【第一学年】

学期	期	月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ	
一学期	前期	4～6月	適時	詩「ふしぎ」金子みすゞ		・よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	①・1	
			適時	目次 第一～第三学年		・中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解することができる。	2・3	
			適時	目的に合わせて書こう		・目的に合わせて、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 ・中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。	4・5	
			適時	姿勢と用具の使い方		・小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。	6・7	
			適時	学習の進め方		・学習の進め方を理解することができる。	8・9	
			適時	書写をとおして学んでいくこと		・中学校三年間における書写の学習内容や目標、各学習内容の関係性を理解することができる。	10	
			適時	扉 第一学年		・第一学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	11	
			適時	学習内容を効果的にノートに書こう		・ノートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	12・13	
			4時間	一 楷書で書こう	1 筆使いー基本点画ー	・小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	14・15	
				2 筆使いと字形「天地」	・小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いと字形を理解して書くことができる。	16～19		
				3 学習を生かして書くー字形、筆順ー	・字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 ・毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。	20・21		
				■(コラム)筆、墨、硯、紙について知ろう【適時】	・書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマに沿って、調べることができる。	22・23		
			7～9月	4時間	二 楷書と仮名を調和させて書こう	1 筆脈「いろは歌」	・平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	24・25
						2 楷書に調和する仮名「いろは歌」	・楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 ・「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	26・27
				3 学習を生かして書くー行の中心ー『竹取物語』	・漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。	28・29		
				4 学習を生かして書くー配列ー ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・手紙を書く	・さまざまな形式の基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して、さまざまな形式に合わせて書くことができる。	30～33		
二学期			9時間	三 行書で書いてみよう	■(コラム)季節の行事と書写【適時】	・書写の学習を学校生活のどのような場面で生かすことができるか、話し合うことができる。	34・35	
					5 学校生活に生かして書く ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く(ポスターセッション用)	・伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。	36・37	
					■(コラム)文字の変遷【適時】	・文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に関心をもつことができる。	38・39	
					1 行書学習のはじめに	・のこされてきた文字や日常生活の文字から、行書という書体を理解できる。	40・41	
					2 楷書と行書の違い「和」	・楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。	42・43	
三学期					3 行書の筆使い「大」	・行書の筆使いを理解して書くことができる。	44・45	
					4 点画の連続と変化1「大木」	・点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	46・47	
					5 点画の連続と変化2「栄光」	・点画の連続と変化を理解して書くことができる。	48・49	
					6 点画の連続と省略「平和」	・点画の連続と省略を理解して書くことができる。	50・51	
					7 学習を生かして書くー行書の特徴ー	・これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	52・53	
					■(コラム)暮らしの文字を支える人々【適時】	・さまざまな活字が活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解し、職業観を意識することができる。	54	
					—	—	12・1月	3時間

年間学習指導計画(案)

【第二学年】

月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ
4～7月	適時	扉 第二学年		・第二学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	55
	6時間	一 行書で書こう	■(コラム)あの人が残した文字【適時】	・日本の歴史上の人物が書いてきた文字について関心を持ち、書かれた字形や身のまわりの文字について話し合い、文字について興味を深めることができる。	56・57
			1 点画の省略「初志」	・点画の省略を理解して書くことができる。	58・59
			2 筆順の変化「深緑」	・筆順の変化を理解して書くことができる。	60・61
		3 学習を生かして書く一行書の特徴	・これまでに学習してきた行書の特徴を理解して書くことができる。	62・63	
9～11月	7時間	二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	1 行書と仮名の調和「喜びの声」	・点画の連続と配列を理解して書くことができる。	64・65
			2 行書に調和する仮名「いろは歌」	・行書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 ・「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	66・67
			3 文字の大きさと配列	・文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	68～70
			■(コラム)短冊と色紙(発展)【適時】	・短冊と色紙について関心をもつことができる。	71
			4 書く速さを意識して書く一行書と仮名の調和-『走れメロス』	・行書と行書に調和する仮名の書き方を理解して、速く書くことを意識することができる。	72・73
			5 学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列-『枕草子』『平家物語』	・行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	74～77
12・1月	3時間	◇書き初めを書く	「生命の尊重」 「伝統の継承」	・行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	133～136
1～3月	4時間	三 学習活動や日常生活に生かして書こう	1 さまざまな書く場面	・目的や必要に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合うことができる。	78・79
			■(コラム)日本建築と「書」(発展)【適時】	・日本の伝統的な建築とそこに日常として使われていた「書」について理解することができる。	80・81
			2 学習を生かして書く ・新聞を書く ・掲示物(ポスター)に案内を書く ・案内状を書く	・文字の大きさや配列を理解して、読みやすく書くことができる。 ・目的や必要に応じて、効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	82～85
			■(コラム)書の古典の鑑賞(発展)【適時】	・さまざまな楷書の古典について、関心をもつことができる。	86

年間学習指導計画(案)

【第三学年】

月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ
4～12月	適時	扉 第三学年		・第三学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	87
	2時間	一 行書を深めよう	1 点画の変化と連続「創造」	・点画の変化と連続を理解して書くことができる。 ・次の文字への筆脈を理解して書くことができる。	88・89
	3時間	二 行書と仮名を調和させて書こう	1 行書と仮名の調和「美しい自然」	・点画の連続を理解して書くことができる。 ・配列を理解して書くことができる。	90・91
			2 学習を生かして書くー配列ー『おくのほそ道』	・行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	92・93
12・1月	3時間	◇書き初めを書く	「友好の精神」 「真理の探究」	・行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ・中学校での書写学習のまとめとして、行書で書くことができる。	137～140
2・3月	2時間	三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう	1 多様な表現による文字	・身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。	94～97
			2 三年間の学習の成果を生かそう	・三年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かすことができる。	98・99
	適時		●芸術としての書道(発展)	・書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが、平安時代に見いだされたことを理解することができる。	②